

2階にあるリビングのようなバスルーム。スタイリッシュな置き型のバスhtubを窓際に置いて、景色を楽しみながらバスタイムを楽しむ。

LOVE

「家づくり」の仕上げはインテリア!

イギリスのインテリアデザイナー、  
ジョアナさんの家で見つけた

# インテリア・テクニク

素敵だと思えるインテリアは、なぜ素敵なのかを分析する——  
それがインテリアを学ぶコツ。ロンドンのジョアナさんの家には、すぐに  
取り入れられるインテリアのテクニクがたくさんありました。

INTERIOR + TECHNIQUE

撮影 / 下村康典  
コーディネーター /  
野村文 (AYA NOMURA)  
協力 / ヴァージン アトランティック航空  
[www.virginatlantic.co.jp/](http://www.virginatlantic.co.jp/)



ロマンティック、  
インダストリアルな  
素材、色...



**JOANNA BERRYMAN**  
ジョアナ・ベリーマン  
幼少期を香港で過ごし、大学で  
ファッションとデザインを学ん  
だ後、ファッションスタイリスト  
に。ELLEなどで活躍。その後、  
Matrushka Ltd.を設立し、イン  
テリアとプロダクトデザインを手  
がけ、国内外で注目されている。  
<http://matrushka.co.uk>

Profile



1 LDKのインテリアのテーマカラーになっている赤を取り入れたフラワーアレンジ。ジャグに活けてカジュアルに。2 ランダムな板板が特徴のオープンシェルフ。ジャンルや色に分けた収納は、雑然と見えないテクニック。3 赤い冷蔵庫とアートがキッチンのアクセントに。ブラウンの壁面が背景だと、ポップになりすぎない。4 「カトラリーは何にしようか…」テーブルセッティングを即興でするジョアナさん。素朴なテーブルにインダストリアルテイストのベンチや曲げ木のチェアを合わせたミックススタイル。5 かしこまりすぎないカジュアルなホームパーティのセッティング。6 可愛らしいマグと容器が、ステンレスのキッチン表情をよわらげる。



## Dining & Kitchen

### ものが多いのに雑然としないのは「固める・空ける」のメリハリがあるから

キッチンの対面には、がっしりとしたスティールのラックが置かれている。これは工業用のもの。そこにグラス、お皿、ティーカップ、カトラリー、花瓶、ナプキンなどがぎっしり。キッチンの調味料や鍋のスペースもぎっしり。でもそれ以外は、「空き」をつくっているため、ごちゃごちゃ見えない。このメリハリがコツ。

ロンドンの高級住宅地ハムステッドにあるジョアナさんの家。道路から半地下になったフロアが広いリビングダイニング。実際のキッチンはステンレスの面積が大きいのに、とってもチャーミング。大きな古材のダイニングテーブル、そして椅子は工業製品のようなベンチと曲げ木の組み合わせ。二つのテイストにはしないの。好きなものを集めていたら、自然とこうなったのよ」とジョアナさん。以前はファッションの仕事をしてきただ

けに、ファッションは大好き。ベッドルームの隣には大きなクローゼットルームがある。ロマンティック、ロック、モダン、シヤブ…さまざまなテイストが混じり合っていて、それはまさにインテリアと同じ。とはいえ、プロのインテリアデザイナーナードだけあって、その組み合わせには、一定のルールが見える。インダストリアルな無機質なものをそばには、必ず素材感の強い木の家具や天然素材のものを。ステンレスに合

わせて、金属はシルバー系の色で統一。赤い冷蔵庫と同じポイントカラーの赤は、キッチンだけでなくリビングでもソファやクッションなど大きな面積で使う。ものがたくさんあるのに、ごちゃごちゃ見えないのは、ぎっしり詰める部分と、すっきり抜く部分のメリハリをつけているから。キッチンの棚ひとつを見てもそれが徹底されている。キッチンとダイニングの反対側、庭に面したリビングは、暖炉に向かってソフ

アを2つゆったりと置いたくつろぐスペース。そのまま右側の庭に出ることが出来る。一方、2階のベッドルームは、ロマンティックな空間。それを決定づけているのは、ファロー&ポールの「ブルイグリーン」という色の壁。そして黒白のアート写真やガラスのシャンデリアなどが部屋を引き締める。楽しくて心地いい——ジョアナさんの折衷空間は、今、いちばん目指したいインテリアでもある。





## Living

大きな家具を「赤」にしてリビングのポイントに

暖炉を中心にソファを置くのは、欧米の一般的なリビングの家具の配置。トラディショナルな形は、くつろぐための配慮でもある。赤いソファはリビングの中心。古材のセンターテーブルが、さまざまな要素をつなぐ役割を果たしている。奥の石畳の庭もリビングの一部。



## Kids Room

白い子供部屋には淡い色を散らして「小さく・可愛く」

娘のニコちゃんの部屋は可愛くて楽しい雰囲気。壁もベッドも棚もすべて、白。その中にピンクを中心にパステルカラーのきれいな色を散らしている。棚はマジスのBoogie Woogieを10個、組み合わせて使用。収納はメリハリをつけて、子供部屋でも雑然と見せない工夫をしている。

## Workspace

サークル型のソファはコミュニケーションの仕掛け

1階の玄関横はジョアナさんのワークスペース。顧客を迎えるための打ち合わせなどにも使うため、テーブルを囲うように、円形の大きなソファを置いている。仕事を意識したややオフィシャルなスペースなので、リビングとは違い、強い印象のエッジなスタイリングに。



INTERIOR + TECHNIQUE



## Garden

室内とひと続きの庭はリビングの一部

バックヤード(裏庭)は、リビングとひと続きになり、部屋の一部に。ジョアナさんは円いテーブルとパントンチェア、中国のパラソルを組み合わせている。庭の1面は壁面緑化されているが、それ以外はあまりグリーンを置かずにすっきりと。テーブル上の色違いのデミタスの組み合わせも素敵。

## Bedroom

壁紙、アート、クッションでロマンティックな空間に

淡いグリーンと柄の壁紙、天井の白。その3色とアールの壁が、この部屋をいっそうロマンティックにしている。ベッドのクッションも照明も、2つずつ置いてシンメトリーに。こういう基本的なセオリーをきちんと押さえているから、「WAR IS OVER」の大胆な額も突飛に見えない。





大きなミラーを  
フォーカルポイントに

4



ポストカードで  
さりげなく色を取り入れる

3



庭の壁1面をさまざまな  
グリーンで埋め尽くす

2



違うデザインや大きさの「額」は  
飾るものを揃える

1

1 蝶の標本を壁の1面に集めて飾っている。さまざまなデザインの種類も、蝶という共通のモチーフがあるので煩雑にならず、まとまって見える。この絶妙なバランスに注目！ 2 壁の1面はグリーンウォール。生のさまざまな種類のグリーンをぎっしりと植え込んでいる。他にはほとんど植物を置いていないので、とても効果的。自動灌水システムになっており、いつも鮮やかな緑を楽しめる。3 赤い冷蔵庫のロゴの部分に、イラストのポストカードを挟んでポイントに。こんな小さなアイデアが、インテリアを楽しくする。4 リビングの暖炉の上は、ディスプレイスペース。ここには、大きな鏡を置いて部屋のフォーカルポイントに。デコラティブなものも上手に取り入れている。5 場所を

とってしまいがちな鍋やフライパン。素材を統一すれば表に出していてもすっきり見える。コンロの脇の壁に掛けているので作業動線も効率的。6 子供部屋の棚。マジスのBoogie Woogieは箱の枠が太いので、いろいろなものもバラバラに見えない効果が。7 シンクのそばの出っぱなしの洗剤は美しいもの。古い木の箱に入れるだけで、ほらこんなにすっきり。8 2階のテラスには小さなガーデンテーブルと椅子。これなら日本のマンションでもできそう。9 ベッドルームからは死角になる壁は、一面クローゼット。オープンな棚にぎっしり収納することで、かえって雑然と見えない。10 ジョアナさんがその場でしてくれたセッティング。日本手ぬぐいが素敵なおナブキに。

## 今すぐ使えるインテリアのアイデア 10

細かい部分をどうするかがインテリアでは大事なところ。  
ジョアナさんの家にはまだまだ使えるアイデアがたくさんありました!



カラフルなナブキン、  
実は「日本の手ぬぐい」

10



壁一面に服と靴。分別&  
ぎっしりが美しい収納のコツ

9



狭いベランダも家具を置けば  
心地よい「カフェ」に



キッチンの洗剤は  
古い木箱に入れてカバー

7



棚の枠は太く。  
ものが雑然と見えない

6



シルバーの鍋を壁面に  
固めてかけてすっきりさせる

5